

平成 24 年度 公益財団法人わかやま産業振興財団事業報告

平成 24 年度における事業の概要は次のとおりである。

1 わかやま企業成長戦略事業

(1) 中小企業支援センター事業

ア 窓口相談事業

① 総合相談窓口事業(210 件)

中小企業者等が抱えるマーケティング、資金等の問題について、プロジェクトマネージャーが相談に応じた。

(内訳)

内 容	件 数	内 容	件 数
マーケティング	14	税務	1
経営全般	27	省エネ	3
資金	51	事業提携	17
ビジネスプラン	28	技術	23
会社設立	12	I T	2
特許	4	その他	28

② 下請かけこみ寺相談事業(18 件 うち弁護士相談 7 件)

中小企業者等が抱える取引適正化・苦情紛争処理等の問題について、弁護士等が相談に応じた。

イ 情報機器整備事業

財団ネットワークシステムの管理、運営を行うとともに、県内中小企業に対して、ホームページや財団サポートメールによる情報提供を行った。

- ・サポートメール件数(毎週配信) 2,599 件
- ・ホームページアクセス件数(年度計) 1,851,656 件

ウ 地域プラットフォーム事業

わかやま地域産業総合支援機構(らいぼ)の中核的支援機関として、新事業創出支援体制の連携強化のため、支援施策の情報交換を目的とした支援施策分科会(13 機関)と資金支援を目的とした資金支援分科会(11 機関)による合同分科会を開催した。

また、15 機関による産学官連携分科会を開催したほか、参加支援機関 28 機関による幹事会を開催し、情報交換を行った。

エ 委員会運営事業

事業可能性評価委員会及び企業カルテ評価委員会の 2 委員会を開催し、「新連携共同研究計画」及び「企業カルテ」を評価し支援先を決定した。

委 員 会 名	開 催 回 数	選 定 数
事業可能性評価委員会	2	4
企業カルテ評価委員会	4	41

(2) 専門家設置事業・(3) 専門家派遣事業

プロジェクトマネージャー 1 名、インキュベーションマネージャー 1 名及び観光産業プロジェクトマネージャー 1 名を配置し、中小企業者等が抱える課題の解決に向けて下記の事業を実施した。

ア 企業プロデュース事業

県内のやる気ある企業に対して、新たなビジネスモデルや「儲かる仕組み」をプロデュースする専門家 10 名からなるチームを組織し、企業の経営革新、第 2 創業、新製品開発及び販路開拓等企業のビジネスプラン実現への取り組みを支援した。

また、専門家プロデュースチームによる会議を 4 回開催し、専門家の選定や支援の方向付け等の検討を行った。

- ・選定企業数 41 社
- ・延派遣回数 59 回

イ 専門家派遣事業

創業や企業経営の向上を目指す中小企業者等に対し、経営・技術・情報化等に関する中小企業診断士や技術士等の専門家を派遣し、助言・指導を行った。

- ・派遣企業数 20 社
- ・延派遣回数 168 回

ウ ものづくり支援アドバイザー事業

先進企業のノウハウを中小企業に蓄積するため、ものづくりに関する技術改善、生産管理等総合的なアドバイスを行うことができる先進企業OBチームを県内企業に派遣した。

- ・派遣企業数 4 社
- ・延派遣回数 80 回

(4) 経営支援事業

ア 経営革新事業

経営革新計画認定事業者が取り組む新商品等の開発、販路開拓のための展示会展等に必要な経費の一部を助成した。

- ・補助企業数 3 件 補助額 10,610 千円

補助事業者	補助事業内容	補助額
(株)コムテック	介護事業所の顧客に商品を提供するシステムの拡張事業	5,000
(株)ユニワールド	「ワンダーグリップ」(作業手袋)の販路開拓、試作品の製作	5,000
(有)リフレ	動画・CGを用いたCMサービス提供のための研究開発	610

イ 販路開拓事業

自社開発した新商品等の販路開拓のため、国内展示会への出展に必要な経費の一部を助成した。

- ・補助企業数 10 件 補助額 2,351 千円

補助事業者	補助事業内容	補助額
妙中パイル織物(株)	高野口パイルファブリック展	346
オーヤパイル(株)	同 上	346
(有)嶋本木工所	LIVING&DESIGN 2012	500
(株)ウメタ	地方銀行フードセレクション2012	125
(株)いなみの里梅園	同 上	126
(有)紀南水産	同 上	340
湯浅醤油(有)	同 上	231
関西化学(株)	第26回東京ビジネス・サミット2012	100

(有)福井鮮魚	第 14 回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー	100
(有)アークコーポレーション	中小企業総合展 JISMEE2012	137

ウ 人材養成事業

新たな事業に取り組むにあたり、経営管理能力及び技術力等の向上を図る研修に要する経費の一部を助成した。

・補助企業数 1件 補助額 200千円

補助事業者	補助事業内容	補助額
(株)システムキューブ	新商品システムの開発及び販売に役立てるため、技術研修及び経営研修を実施	200

(5) 受発注情報収集・提供事業

ア 企業登録の推進事業

企業訪問等により下請取引情報提供の基礎となる受・発注企業の登録を推進した。

イ 受発注情報収集提供等の促進事業

県外大手企業の発注計画や発注ニーズについて、財団独自の発注アンケート調査や専門調査員による発注企業開拓訪問などにより情報を収集するとともに、当該情報を県内登録企業に提供することにより、取引あっせんに努めた。

(業務遂行状況表)

項 目		本 年 度	累 計
登録企業数	発注企業	0	448
	受注企業	6	913
発注申出件数		137	3,011
受注申出件数		139	4,683
あっせん紹介件数		254	9,698
あっせん紹介 結果	成立件数	16	1,714
	不成立件数	132	7,878
	折衝中の件数	106	106
契約成立当初受注金額(千円)		47,116	2,970,021
指導相談件数	計	702	18,121
	あっせん相談関係	381	10,222
	経営関係	25	4,392
	技術関係	9	1,918
	苦情・紛争関係	18	139
	その他	269	1,450
発注開拓企業数		62	1,947

ウ 企業情報収集提供等の促進事業

受発注案件、取引改善関係法令及び財団事業等を掲載した情報誌「財団だより」を毎月発行し、情報提供を行った。また、登録企業の自社製品、加工技術を掲載した「中小企業ガイドブック」を作成し、県外発注企業 820 社に配布するとともに、新規取引先の拡大と

取引あっせんに努めた。さらに、県内下請中小企業の受注状況を把握し、下請取引業務の円滑化を図るための資料とするため「経営受注動向調査」を実施した。

エ 商談会等開催事業

県外の大手メーカー等を招へいし、受注企業とのマッチングの場を提供する取引商談会を和歌山市、大阪市、京都市においてそれぞれ1回開催し、取引先の開拓、取引あっせんの円滑化に努めた。

また、優れた自社製品、産品を有する県内企業と県内外の購買企業との商談の場「わかやま産品商談会」を和歌山市において開催し、新規取引先の開拓等販路開拓を行った。

① 取引商談会

参加企業 発注企業 68社、受注企業 52社 合計 120社

② わかやま産品商談会展出企業数 68社 購買企業 100社

オ 中小企業総合展事業

中小企業者等の優秀な技術、製品等を一堂に展示し、中小企業者等の製品開発力、加工技術等を紹介するとともに、新規取引先の開拓及び広域的な受注機会の増加に努めた。

(6) 成長企業育成支援事業

地域中核企業の育成を目指すため、企業が抱える成長に向けた課題に対し、重点的・継続的な集中支援を行うサポーターチームを結成し、支援を行った。

・支援企業数 1社

企業名	支援内容
ワコン(株)	① 大型ボックスパレット拡販にあたってのマーケティング支援 ② 食品・医療医薬・精密機器企業及び物流会社との連携による拡販（具体的商品開発と販売戦略の立案及び企業紹介）

(7) 新・成長企業育成支援事業

地域におけるリーディングカンパニーの育成・支援を目的とし、新事業の展開等に取り組む中小企業者等の成長に必要な中核人材の導入支援を行った。

企業名	支援内容
宮本産業(株)	中核人材の導入支援

(8) 研究開発強化事業

ア 産学官研究推進事業

県内中小企業の研究開発を促進するため、県内中小企業、大学、公設試験研究機関等の研究員等が主宰する産学官研究コンソーシアムが取り組む人的ネットワークの構築や事業化可能性調査に対して助成した。

① ネットワーク構築 2件 249,120円

医農商工連携の有り方研究コンソーシアム（和歌山県立医科大学） 94,120円

八升豆活用コンソーシアム（和歌山県工業技術センター） 155,000円

② 事業化可能性調査 2件 576,178円

バイオマス資源活用研究会（南海スチール(株)） 0円

炭のヒト健康に対する機能性の解明と食素材としての可能性評価（(株)ラテスト） 576,178円

イ 新連携共同研究事業

地域における経営資源等を活用して新事業展開に取り組む産学官連携体に対し、共同研究を委託した。

4件 13,496,742円

テーマ・実績額	委託企業 (コア企業)	連携体構成機関
高品質炭団のための木質炭化物加工技術の開発 実績額 3,499,742	(株)継	和歌山県工業技術センター 和歌山県林業試験場
クエン酸発酵による柿果実飲料の大量生産プロセスの開発 実績額 3,400,000	田村造酢(株)	和歌山県工業技術センター
生活習慣病対策に効果的な運動指導システムの実用化 実績額 3,597,000	(株)ユー・アイ	(株)サイバーリンクス 近畿大学
梅内在ペクチンを活かした新規梅加工品の開発 実績額 3,000,000	プラム食品(株)	和歌山県工業技術センター

ウ 新産業育成支援事業

県内企業が有する優れた技術（こだわり技術）等を活用して取り組む新製品・新事業の開発等に要する経費の一部を助成した。

・補助企業数 3件 補助額 4,829千円

補助事業者	補助事業内容	補助額
(株)宮源	クイックゲル化食品の機能強化商品の開発	1,720
太洋工業(株)	プリント配線板電気検査装置の新検査方式の開発	2,285
(有)濱出工業	災害避難カプセル試作品の製作	824

(9) 技術・知的財産強化事業

ア 新事業支援コーディネーター設置事業 (面談企業数155社)

県内企業が保有する知的財産や技術を活用したビジネスモデルの構築に対するアドバイスや県内企業の技術ニーズと大学や公設試験研究機関が保有する特許・技術シーズのマッチングによる事業化支援等を行うため、新事業支援コーディネーターを設置した。

イ 技術連携コーディネーター設置事業 (面談企業数125社)

県内企業訪問によるシーズ・ニーズの発掘を行うとともに、大学や公設試験研究機関等が持つシーズを把握し、それらをマッチングさせることにより産学官の技術連携による研究開発を育てていく、技術連携コーディネーターを設置した。

ウ 科学技術コーディネート機能強化事業 (面談企業数25社)

公設試験研究機関の研究成果の技術移転、公募型研究開発資金獲得のため産学官連携による研究開発プロジェクトの立案等をアドバイス、コーディネートする科学技術コーディネーターを設置した。

エ 新技術育成情報活用支援事業 (調査件数144件)

先端分野に係る研究開発を目指す県内中小企業の相談に応じ、商用データベースを活用し、研究テーマの立案・ブラッシュアップ、技術の権利化に必要な先行特許情報や学術論文等の基礎的調査を行い、情報提供、相談等を行った。

2 中小企業支援基盤整備促進事業

企業支援データベースの拡充や情報化基盤に関する保守管理等を行った。

3 国際経済交流支援事業

県内企業の国際的なビジネス活動を支援するため、和歌山国際経済サポートデスク相談員1名を設置し、貿易・投資等の相談に応じるほか、グローバルな経済、貿易等、最新情報の収集・提供を行った。また、和歌山国際ビジネス交流サロンを開催し、中小企業者相互の連携意識の醸成、国際化マインドの育成等に努めた。

・相談件数 延べ77件

<地域別相談内訳>

アジア	ヨーロッパ	北米	その他	合計
51	4	10	12	77

<講座・セミナー等開催実績>

開催日	講座・セミナー名	参加者数
4月19日	貿易実務基礎講座/基礎編	41
5月18日	トルコビジネスセミナーin和歌山	32
6月21日	オーストラリアビジネスセミナーin和歌山	28
8月8日	海外見本市活用のための実務講座	25
11月14日	貿易実務講座/英文契約編	36
12月4日	ASEAN ビジネスセミナー	34
2月1日	第11回和歌山国際ビジネス交流サロン	21
3月14日	中国ビジネスセミナー及び第12回和歌山国際ビジネス交流サロン	34

4 わかやま中小企業元気ファンド事業

「活力あふれる元気な和歌山経済」を目標に「地域経済を支える中小企業を育成・振興し、足腰の強い地域産業の創出・育成」の実現を図るため、中小企業者等が取り組む地域資源を活用した新商品・新サービスの開発、中小企業者等と大学、国立工業高等専門学校、公設試験研究機関との共同研究等から生まれた研究成果の事業化に対して支援を行った。さらに、商工会議所等が取り組む新たな事業構想を発掘するためのコーディネート活動に対して支援を行った。

(1) 地域資源活用事業 A

件数：15件 交付決定額：25,821千円

助成事業者	地域資源	事業内容	交付額
エコマネジメント(株)	温州みかん梅	未利用資源と地域資源を活用した配合飼料の試作開発と事業化	823
(株)黒潮市場	醤油、味噌	醤油を用いた鮭製品の開発	1,930
(株)アコモファーム 紀州	温州みかん	温州みかんの搾りかすを用いた培養肥料、液肥の開発	711

(有)ハヤシ・シザース	機械加工製品	レーザクラッディング技術を用いた理美容鋏の開発	2,198
紀北川上農業協同組合	柿、桃	柿、桃の果実の凍眠冷凍の開発と事業化	1,903
(株)サンアクティス	梅	新規な果皮剥離技術を利用した皮むき梅の開発	2,130
花野食品	温州みかん	温州みかんを用いたリキュールの開発	1,276
(株)九重雑賀	日本酒 梅 温州みかん	日本酒、梅、みかん果汁を用いた瓶内2次発酵による発泡性酒類の開発	1,805
池田清吉建具	紀州材	紀州材並びに「組子」の伝統技術を用いた額縁、盾の商品開発	2,393
(有)坂部ブラシ	合成樹脂製 家庭用品	化学塗料を用いた毛の抜けにくい食品工場向けブラシの開発	3,000
原田織物(株)	ニット 染料 顔料製品	ふんわりマルチおしゃれロングチーフ、タオルマフラーの開発	1,143
紀南農業協同組合	梅	梅の仁から採れる植物性油脂を用いた石鹸の開発	900
(有)東佐一商店	家具 建具	スプルースを用いたマンション用玄関網戸の開発	1,132
(株)紀州ほそ川	梅	梅、柑橘類を用いた八升豆加工品の開発	2,977
丸八水産(有)	マグロ	クロマグロの廃棄部位を有効活用する食品加工技術の開発と周知	1,500

(2) 地域資源活用事業 B

件数：10件 交付決定額：32,447千円

助成事業者	地域資源	事業内容	交付額
(有)畑中香房	温州みかん はっさく	紀州材とハーブオイルを使用した小動物、害虫等の忌避香「角渦巻き型ニーム香」の新製品開発	2,315
(有)クスベ産業	紀州材	間伐材等を混合した土壌改良材の開発	3,296
ワコン(株)	機械加工製品	蓄熱剤を用いた物流専用容器「サーモボックス」の開発	3,563
(株)メイワ	機械加工製品	小型産業用水冷式インバーターエコチラーの開発	3,846
(株)酒のかまくら	温州みかん	県内各地の柑橘類を用いたリキュール酒の開発と事業化	3,450
(有)溝口工業所	紀州材	紀州材を用いた次世代多用途ハウスのバリエーションの拡大と拡販	3,600
湯浅醤油(有)	醤油	醤油卵の製品開発と販路開拓	2,562
(株)ドリーム産業	機械加工製品	モジュール化とユニット化を主眼にした新規ボックスドライヤーの開発	3,142

田上米穀店	シイタケ イサキ 伊勢えび	熊野米を用いた熊野釜飯の開発	1,965
(株)原組	電気電子製品	ソーラシステムの効率化に関する開発	4,708

(3) 新産業育成事業 A

件数：4 件 交付決定額：17,429 千円

助成事業者	事業内容	交付額
(株)宮崎エンジニアリング	GPSを用いた無線遠隔航跡記録装置の開発と事業化	5,000
(株)山長商店	無垢材製材を利用したラーメン構法の開発と事業化	4,376
日進化学(株)	炭酸ガスの人体に与える影響の調査とこの技術を用いた化粧品の開発と事業化	3,053
スガイ化学工業(株)	デカリン誘導体の開発と事業化	5,000

(4) 新産業育成支援 B

件数：2 件 交付決定額：7,315 千円

助成事業者	事業内容	交付額
4Dセンサー(株)	小型実時間変位分布・振動分布計測モアレカメラの開発と事業化	3,655
エコ和歌山(株)	パイル織物を利用した汚泥減容化排水処理システムの開発と事業化	3,660

(5) 産業支援機関事業

件数：6 件 交付決定額：4,841 千円

助成事業者	事業内容	交付額
田辺商工会議所	南紀田辺の柑橘類を用いたスイーツ商品プロモーション研究支援	1,000
特定非営利活動法人紀州えこなびと	和歌浦地域の地域資源（和歌祭・しらす等）を活用した新商品研究事業	600
特定非営利活動法人次世代エネルギー研究所	和歌山高専、人材バンクを活用した和歌山・次世代テクノサロンの開催	470
田辺商工会議所	田辺湾・イルカ癒しプログラムの商品開発・事業化研究支援事業	1,000
串本町商工会	本州最南端・串本ご当地グルメプロデュース事業	1,000
特定非営利活動法人和歌浦湾海業	和歌浦湾とその周辺海域の魚介類を使用した水産加工品開発の研究事業	771

5 わかやま農商工連携ファンド事業

「活力あふれる元気な和歌山経済の創造」の実現に向け、県内中小企業者等と農林漁業者とが連携して取り組む新商品の開発等に対し、支援を行った。

・助成件数 10件 交付決定額 25,294千円

助成事業者	事業内容	交付額
中野BC(株) (株)伊藤農園	ジュース加工後の柑橘果皮を使用したエッセンシャルオイルの開発	2,650
(株)奥熊野本宮 みくまの農業協同組合	地元「音無茶」を使用した新商品開発	754
(株)ふみこ農園 ながみね農業協同組合	ぶどう山椒と山ぶきなどを使った加工食品「デコ飯」シリーズの開発	584
(株)きてら (株)秋津野	柑橘の外皮並びに果肉を用いた加工品の開発	783
グリーン日高農業協同組合 紀州食品(株) (株)伊藤農園 (有)花みつ (株)木の国	J Aブランド商品のゆら早生、温州みかん、さつき八朔を使用した缶詰・ジュース・菓子・アイスクリーム等加工品の開発	3,411
(株)岩本食品 (株)久保農園	「美と健康マーケット」をターゲットとした梅酢加工品の開発	3,032
m' affably 熊野川町森林組合	熊野の森の植物を用いたエッセンシャルオイル(アロマ)、フレッシュウォーターの開発	1,202
クオリティライフ(株) 太田リターン協議会	ピロール農法を活用した米及び野菜の栽培及び商品の販路開拓	5,000
(株)つじや辻本商店 紀ノ川農業協同組合	和歌山産の野菜(きゅうり等)を用いた外食産業向け漬物商品の開発	5,000
(有)キセイテック (有)原見林業	スギ・ヒノキ等の抽出液による農業用「特定防除資材」の開発	2,878

6 緊急雇用創出事業特例基金活用事業(海外市場開拓調査員設置事業)

県内企業の海外展開に関するビジネスニーズ等の実態を把握し、より効果的な施策を検討するため「和歌山県企業海外展開アンケート調査」を実施した。調査対象企業は、当財団が保有するデータベースより抽出した県内企業2,000社とし、郵送調査法によりアンケート調査を実施した。また、過去に財団が主催した海外ビジネスセミナー、海外商談会及び展示会等に参加した企業より抽出した50社を訪問し、面接の形式でヒアリング調査を行った。

7 わかやま産品販促支援事業

「わかやま産品販路開拓アクションプログラム」に基づき、県内企業が持つ優れた製品・技術力等を効果的に売り込むため、海外での個別商談会や国内での大手企業との個別面談会を開催するとともに国内外の著名展示会への出展に対して支援を行った。

(1) 海外

- ア 海外個別商談会(オーストラリア5社、トルコ5社)
- イ 海外展示会出展支援(14社)

(2) 国内

ア 大手企業との面談会

会社名	参加数	開催日
ゼネラルプロダクション(株)との登録面談会 (和歌山市)	12	平成24年7月9日
シャープ(株)技術ニーズ説明会 (和歌山市)	24	平成24年10月25日
シャープ(株)との個別面談会 (和歌山市)	4	平成25年2月1日
日立造船(株)等による技術ニーズ説明会 (大阪府東大阪市) (関西広域連合、大阪商工会議所主催)	10	平成24年11月27日
日立造船(株)との個別面談会 (大阪府大阪市)	2	平成25年2月14日
アタカ大機(株)との個別面談会 (大阪府大阪市)	1	平成25年2月26日
日本ペイント(株)との個別面談会 (大阪府寝屋川市)	5	平成25年3月6日

イ 専門展示会への集団出展

展示会名	参加数	開催日
第16回機械要素技術展	11	平成24年6月20日～22日
第74回東京国際・ギフト・ショー秋2012	10	平成24年9月5日～7日
第42回インターネフコン・ジャパン	6	平成25年1月16日～18日
健康博覧会2013(第31回)	6	平成25年3月13日～15日

8 販売力強化支援事業(わかやまビジネスサポートセンター)

わかやま産品販路開拓アクションプログラムの国内戦略の強化を行うため、積極的な首都圏展開を目指す県内企業に対して営業拠点を提供するとともに ABIC(特定非営利活動法人国際社会貢献センター)の協力を得ながら専門家の派遣を行った。

入居企業	販路開拓品	利用目的	専門家派遣回数
原田織物(株)	ボディタオル 食卓ふきん	首都圏に集中する得意先へのサービス充実	3

(株)早和果樹園	有田みかん 味ーしぼり	首都圏取引先への綿密な提案、 営業活動の拠点	21
(株)寿精密	ダイヤモンドパンチ ダイヤモンド製品	新規顧客の開拓を関東以北で行 う際の拠点	8
ユーロテック ジャパン(株)	航空機部品 航空機	首都圏に本社又は事業本部を置く 航空事業者やヘリコプターを運用 する官公庁への販路開拓拠点	1
ワコン(株)	大型ボックスパレッ ト ワコポン	首都圏での販路開拓 営業拠点の設置	17
(株)ドリーム産業	ペット用ドライヤー ドッグバス	アフターサービス拠点 (主に関東圏)	7

9 債権管理事業

(1) 設備貸与・資金貸付事業

設備貸与企業や設備資金貸付企業に対して、企業訪問等により債権回収を実施し 583,000 円を回収した。

(2) 創造的中小企業創出支援事業

代位弁済による求償権に基づき、364,583 円を回収した。

10 わかやま産業技術振興事業

(1) 技術研修事業

技術人材育成のための各種講座を開催した。

ア 基礎技術講座

・ 講座回数 6回 参加者総数 174名

内 容	開催日・場所	参加者数
食品製造業品質管理者研修 (フードクリエイトスズキ 代表取締役 鈴木進氏)	平成 24 年 10 月 23 日 和歌山ビッグU 研修室	31
利益を稼ぎ出す原価管理 (中小企業診断士荒木慎吾事務所 代表 荒木慎吾氏)	平成 24 年 5 月(16、23、30)日 和歌山ビッグ愛 研修室	25
5Sと製造現場の「見える化」 (実践マネジメント研究所 代表 植條英典氏)	平成 24 年 6 月(5、19、29)日 同 上	31
品質保証の考え方と品質管理の進め方 (5S経営研究所株) 代表取締役 山名敏文氏)	平成 24 年 7 月(3、11、19)日 同 上	31
生産管理と納期管理のポイント (実践マネジメント研究所 代表 植條英典氏)	平成 24 年 9 月(7、12、26)日 同 上	26
現場改善と人材育成のポイント (兵庫経営テクノロジー 代表 桑名和彦氏)	平成 24 年 11 月(1、8、15)日 同 上	30

イ 夏休みのおもしろ科学の実験工作教室

- ・ 8月6日 田辺市開催 参加者 16名
- ・ 8月8日、9日 和歌山市開催 参加者 22名

(2) 専門技術研究会事業

県内の様々な産業分野における専門技術の動向、専門知識等の普及と参加企業相互の情報交換を図るため、公設試験研究機関、大学等の研究員が主宰する専門技術研究会の運営を助成した。

研究会数 10 研究会 開催回数 延べ 44 回

名 称	代表研究主査所属機関	人 数 構 成			計
		産	学	官	
県特産品への感性価値付与検討研究会	和歌山工業高等専門学校	50	3	0	53
水産加工技術研究会	同 上	15	3	4	22
和高専地域活力支援研究会	同 上	26	14	6	46
食品開発技術研究会	和歌山県工業技術センター	26	0	10	36
基礎分析技術研究会	同 上	56	8	32	96
日本薬局方研究会	同 上	31	0	7	38
CAE を利用したものづくり研究会	同 上	16	0	5	21
環境技術研究会	同 上	20	2	8	30
繊維・プラスチック材料の基礎知識	同 上	17	0	8	25
有機太陽電池研究会	同 上	16	9	10	35
	合 計	273	39	90	402

(3) 技術情報提供事業

テクノ振興部の活動等を紹介する情報誌「テクノウェーブWAKAYAMA」を650部作成し、会員や関係機関等に配布した。

(4) 技術交流促進事業

和歌山県内の大学・工業高等専門学校・公設試験研究機関が保有する技術シーズを公開し、産学官の連携促進と人的交流を図るとともに、共同研究や技術移転等を推進するため、「わかやまテクノ・ビジネスフェア'12～わかやま発技術シーズ発表会～」を開催した。

開催日 平成24年11月13日(火)

場 所 アバローム紀の国

来場者 177名

基調講演 「最新のエネルギー事情を考える」

講師 和歌山県工業技術センター所長 請川孝治氏

公設試験研究機関連携 合同研究成果発表会 8件
 技術シーズ発表会 A 「地域資源活用分野」分科会 8件
 B 「新産業育成分野」分科会 8件
 ポスターセッション・交流会
 特許相談コーナー

(5) 企業交流促進事業

話題提供者を中心に、自然科学・人文科学を含む広い範囲のテーマについて理解を深めるとともに、各分野の参加者が自由な立場で出会い、産学官のより一層の交流を図るため、テクノサロンを6回開催した。

開催日	演題等	講師等
平成24年 5月18日	未来を拓くQSD (品質安定化設計手法)	パナソニック(株)技術品質本部 技術品質ソリューションセンター MASTAS 講師 甲斐野眞次氏
平成24年 7月25日	ロボット ASIMO の生みの親が語る	(有)ヒューマンリンク 代表取締役 田上勝俊氏
平成24年 9月11日	見学会 ① 大阪市立阿倍野防災センター ② 灘菊酒造(株) ③ 姫路城大天守修理	
平成24年 11月6日	ライオン(株)での製品安全に向けた活動について	ライオン(株)研究開発本部 環境・安全性評価センター 所長 原田房枝氏
平成25年 1月28日	モノづくり企業を活性化する4つの秘訣	(株)エンジニア 代表取締役 高崎充弘氏
平成25年 3月8日	社員を幸せにすれば企業は成長し 繁栄する	未来工業(株) 取締役相談役 山田昭男氏

(6) 広域的新事業支援連携事業

ア 和歌山大学、近畿大学並びに県内情報サービス関連企業による産学官連携を推進するため、若手研究者と情報サービス企業による研究成果発表会を2回開催し、最新の技術と知識の普及を図った。

- ① 平成24年9月21日 ルミエール華月殿 出席者42名
発表4件(和歌山大学システム工学部教員、近畿大学生物理工学部教員、会員企業)
パネルディスカッション(教員5名、企業2名)
- ② 平成25年2月8日 アバローム紀の国 出席者56名
和歌山大学システム工学部大学院生、近畿大学生物理工学部大学院生によるショートプレゼンテーション、ポスターセッション 27件

イ ワンディ・WINTEC in 橋本

県内企業の技術力の向上と研究開発を支援するため、工業技術センターの利用事例などの業務紹介、情報提供及び当財団業務の紹介や情報の提供を行った。

日時 平成25年1月22日(火)
 場所 橋本商工会議所
 内容 基調講演1件、利用事例紹介1件、情報提供4件
 展示・相談コーナー(ポスター展示、試作品の展示、実機の実演)
 来場者 124名

ウ 平成 24 年度農業・林業・水産技術成果発表会

農林水産技術に係る試験研究機関の成果発表を行うとともに、当財団が行う農林水産物・技術を活用した商品開発等の補助金等を紹介。

水産試験場成果発表会

日 時 平成 25 年 2 月 15 日（金）
場 所 紀南文化会館
内 容 基調講演 1 件、成果発表 4 件
来場者 40 名

水産技術成果発表会

日 時 平成 25 年 2 月 18 日（月）
場 所 上富田文化会館
内 容 成果発表 4 件、情報提供 4 件
来場者 81 名

1 1 中小企業知的財産戦略支援事業

中小企業外国出願支援事業

外国で知的財産権を戦略的に活用し、経営の向上を目指す県内中小企業に対して、外国への特許・意匠・商標出願を支援した。

6 社 1,603,645 円

企業名	種 別	発明名称	出願国
アイエスプリンクラー(株)	特 許	スプリンクラーヘッド	韓国
妙中パイル織物(株)	特 許	液晶パネル基板用ラビング材	韓国
三木理研工業(株)	特 許	エチレン尿素の製造方法	中国
(有)ハヤシシザーズ	商 標		オーストラリア・ 韓国
(株)FINE TRADING JAPAN	商 標		中国・台湾・韓国・ シンガポール
湯浅醤油(有)	商 標		中国・アメリカ・ 欧州共同体

1 2 戦略的基盤技術高度化支援事業

近畿経済産業局から委託を受けて行う大型研究開発事業で、共同研究に参画する県内企業、和歌山大学、近畿大学、和歌山県工業技術センターへの再委託により、研究開発事業を実施した。

ア 採択テーマ MEMS 技術を応用した静電気非接触可視化システムの実用化
共同研究体 阪和電子工業(株)、和歌山県工業技術センター、近畿大学
事業実施期間 平成 22 年度～平成 24 年度

イ 採択テーマ 自動車エンジン用ピストンの生産効率の向上に資するダイカスト鑄造技術の開発
共同研究体 アクロナイネン(株)、和歌山大学、和歌山県工業技術センター
事業実施期間 平成 22 年度～平成 24 年度

- ウ 採択テーマ FRP樹脂成形金型用DLC膜とその大型化技術の開発
共同研究体 (株)保田鉄工所、和歌山県工業技術センター
事業実施期間 平成23年度～平成25年度
- エ 採択テーマ 自動車用複雑形状部品の製造コストを削減する圧造プレス技術の開発
共同研究体 (株)NSK、アクロナイネン(株)、松金工業(株)、和歌山県工業技術センター
事業実施期間 平成24年度～平成26年度

13 地域イノベーション戦略支援プログラム事業

文部科学省補助事業（最長5年間、平成24年度～）

テーマ名 「地域資源を活かした健康産業イノベーション

～県民健康力の向上と保健機能製品の世界展開～」

事業概要：「医・農」分野の中核的研究者の集積を図り、県特産農産物由来の機能成分の研究を行う。また、「食・健康、運動」に関わる人材の育成と配置を行う。

参画機関：（公財）わかやま産業振興財団、近畿大学、和歌山大学、和歌山県立医科大学
行 事：

キックオフセミナー	平成24年10月24日
研究発表会	平成25年 1月30日
成果発表会	平成25年 3月15日
外部評価委員会	平成25年 3月15日